

第7回琵琶湖保全再生推進協議会幹事会 議事概要

1 日 時 : 令和5年9月15日(金) 15:45~17:08

2 場 所 : 北ビワコホテルグラツィエ 2階 アレーナ

3 出席者 : 別添「出席者名簿」のとおり

4 議事概要:

(1) 開会

(2) 幹事長挨拶

国土交通省国土政策局 黒田局長及び環境省水・大気環境局 土居局長から挨拶

(3) 議事

①琵琶湖の保全及び再生の状況について

資料1により、滋賀県から説明

②琵琶湖の保全及び再生に関する施策の実施状況について

各資料により、国土交通省、環境省、農林水産省、文部科学省及び滋賀県から説明

資料2-1・参考資料2-1

国土交通省国土政策局: 施策の実施状況の概要

資料2-2 環境省: 琵琶湖保全再生等推進費等

資料2-3 国土交通省水管理・国土保全局: 野洲川瀬・淵再生等

資料2-4 農林水産省(林野庁・水産庁)

: ホンモロコ等の産卵・繁殖の場となるヨシ帯造成等

資料2-5 文部科学省: 文部科学省における環境教育の取組等

資料2-6 滋賀県: 水産資源の回復の取組等

③琵琶湖保全再生施策の推進に関する意見交換

(京都府)

- ・ 豊かで安定した取水量を誇る琵琶湖の水は近畿の生活と産業活動を支える基盤として大きな役割を果たしている。琵琶湖疏水等を通じて京都市で水道水源として活用され、府営水道を通じて宇治川の天ヶ瀬ダムの貯留水を水源に府内に供給している。
- ・ 府営水道では高度経済成長期の人口増加や事業所の立地により、自己水源だけでは安定供給が困難となった南部地域の7市3町に、水道用水供給事業を行っている。また、京都府南部地域広域的水道整備計画に基づいて広域化を進めており、宇治、木津、乙訓の3浄水場を連絡管路で接続して給水区域全域をバックアップ可能な広域水利用システムを構築している。
- ・ 国の天ヶ瀬ダムの再開発事業に参画して、安定水利権を得ることでより安定的な水道水の供給が可能となった。
- ・ 宇治浄水場で4年ぶりに施設公開を開催し、過去最高の1,150名の参加があった。施設見学等を通じて水源観察や水源涵養の大切さをはじめ、水道事業の重要性や課題について広く府民にPRできた。

- ・ 府営水道以外の取組では琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議の事務局も務めており、流域府県の連携事業として全日本中学生水の作文コンクールにおける優秀作品を、流域視点から審査・表彰をして時代を担う中学生に水源や流域について考える機会を設けている。
- ・ 近年、天ヶ瀬ダムで取水する府営水道の源水に、カビ臭の原因となる藻類が冬季にも発生していることから、参画している琵琶湖・淀川水質保全機構での研究課題として提案をした。この結果、異臭原因藻類の冬期の突発的な発生について調査研究が進められることとなったので、調査結果を水道の運用にも活かしていく。

(大阪市)

- ・ 2019年6月に開催されたG20大阪サミットでは、2050年までに新たなプラスチックごみによる汚染をゼロとすることを目指す大阪ブルー・オーシャン・ビジョンが盛り込まれた大阪宣言が採択された。また、2020年3月には大阪ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業を主要な取組として、大阪府とともに内閣府のSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業へ共同提案し、同年7月に大阪発、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進プロジェクトが選定された。推進事業は、自治体SDGsモデル事業の中核的事業であり、多様なステークホルダーとの連携を通して進めるもの。
- ・ この推進事業は、①実行計画の推進、②新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの取組推進、③SDGsの取組に関する国際協力推進の3つの取組で構成される。
- ・ 実行計画は、SDGsのゴールを踏まえ2030年度までを計画の期間とし、計画の目標と5つの柱を設定して進めている。この計画に基づいた2021年度の目標達成状況は資料のとおりであり、目標に向けて取組を推進したい。
- ・ 新たなペットボトル回収・リサイクルシステムは、大阪府が2019年度に全国の他の自治体に先駆けて構築したシステムであり、資源ごみとして回収している家庭から排出されるペットボトルを地域コミュニティと参画事業者が連携協働して回収するもの。令和5年8月現在、大阪府域全328地域の4割にあたる130地域で活動を実施している。
- ・ 国連環境計画国際環境技術センター等と連携して、海洋プラスチックごみの削減をめざす大阪府や日本企業等による先進的な取組について海外へ情報発信し、途上国の海洋プラスチックごみの問題を解決していきたい。

(滋賀県)

- ・ 琵琶湖淀川流域の連携事例について、大学や県外の学校との連携による連続講座の開催、2022年度大阪・関西ユネスコスクールネットワークの近畿・北陸ブロック大会での事例発表という形で、琵琶湖の環境と「びわ湖の日」に関する講義を行った。
- ・ 大阪湾再生推進会議や、京都市との琵琶湖疏水に関する情報交換会を開催する等、下流府県市との情報共有を行っている。
- ・ 県内においては、関西広域連合の事業の一環として、滋賀県の小学5年生全員が乗船する学習船である「うみのこ」に、下流府県市の学校の親子にも乗っていただく機会を設けている。今年度は3回の実施を予定しており、下流府県をはじめ県外の方々にも琵琶湖に触れてもらい、理解を深めていただいている。
- ・ 琵琶湖及び淀川流域の保全再生には、琵琶湖の水源の森から大阪湾までの一体的な対策が大変重要であり、今後とも皆様と連携して琵琶湖の保全再生を進めていきたいと考えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

(滋賀県)

- ・ 京都府から報告があった水道水の異臭・カビ臭に関しては、琵琶湖・淀川水質保全機構の理事長という立場も兼ねての発言だが、社会的な課題であるため機構の水質浄化研究所で要因研究を実施しており、研究成果をとりまとめたいと考えているところ。

④その他

(資料の公表について)

資料1及び参考資料2-1を琵琶湖の保全及び再生に関する法律第23条に基づく公表資料として、後日、国土交通省、環境省及び滋賀県のホームページに掲載する。

(4) 閉会

滋賀県江島副知事より挨拶

－以上－

第7回琵琶湖保全再生推進協議会幹事会 出席者名簿

機関名	所属部署	役職等	氏名
(主務省)			
総務省	地域力創造グループ地域政策課	係長	伊藤 武人
文部科学省	総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課	課長補佐	濱部 威一郎
農林水産省	水産庁漁港漁場整備部計画課	計画官	森田 浩史
農林水産省	近畿農政局企画調整室	室長	歌丸 恵理
農林水産省	林野庁近畿中国森林管理局計画保全部	部長	三浦 祥子
国土交通省	国土政策局	局長	黒田 昌義
国土交通省	水管理・国土保全局 河川環境課	河川環境評価分析官	岩下 友也
国土交通省	近畿地方整備局	副局長	上野 純一
環境省	水・大気環境局	局長	土居 健太郎
環境省	自然環境局 野生生物課外来生物対策室	室長	松本 英昭
環境省	近畿地方環境事務所	所長	関根 達郎
(関係府県及び関係指定都市)			
滋賀県	琵琶湖環境部	部長	森本 哲司
京都府	建設交通部 公営企画課	課長	大路 裕子
大阪府	政策企画部 企画室推進課	課長補佐	仲平 浩祥
兵庫県	企画部 総合政策課	水素・エネルギー企画官	大原 成幸
京都市	総合企画局 都市経営戦略室	戦略マネジメント課長	葉山 和則
大阪市	計画調整局 計画部	広域交通企画担当課長	井上 智仁
堺市	市長公室 政策企画部広域連携担当	主幹	大西 隆寛
神戸市	都市局 未来都市推進課	課長	青木 智幸